

## 令和5年度 神戸市立平野小学校 学校評価報告書

| リ学の校目づらく  | ・ 自他を認め合える学校<br>・ 地域とつながる学校     |  |                  |  |  |  |
|---|---------------------------------|--|------------------|--|--|--|
| 内容  | 重点的な取組み                         | 評点<br>(4段階)  | 特記事項<br>(学校自己評価) | 関係者評価<br>(学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)                               | 学校自己評価、関係者評価を踏まえた<br>次年度の重点的な取組みの案                                       |  |
| 育<br>て<br>た<br>い<br>子<br>供<br>の<br>姿                | 〈教育目標〉 自ら学び 心豊かに たくましく          |  |                  |  |  |  |
|   | 自ら進んで学ぶ子<br>(自ら学ぶ子)             | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の向上 (個に応じた指導の充実)</li> <li>対話的で深まる授業 (聴く・話す)</li> <li>ICT機器の利活用</li> </ul> | 3                | 「対話的」な活動を通して、主体的に授業に参加し、自ら学ぶ力を高めることができた。基礎学力の向上には、引き続き取り組んでいく。 | ICT機器の利活用や課題設定など、子供たちの興味を惹き付ける工夫が随所にされており、主体的に授業に参加している姿が多く見られ、良かった。     | 「対話的で深まる授業づくり」には、引き続き取り組んでいく。基礎学力の向上については、個に応じた指導 (支援体制、家庭学習等を含む) を計画的に行う。 |
|   | 互いの良さや違いを認め合うことができる子<br>(心豊かな子) | <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ運動</li> <li>道徳教育・人権教育の充実</li> <li>なかよしひらのこ活動</li> </ul>                   | 3                | あいさつ運動やグループでの活動を通して、協働する力を高めることができた。互いを認め合う点では、様々な場面で取組が必要である。 | 素直で親切な子供たちが多く、気持ちの良いあいさつも概ねできている。学童保育や地域での様子は個人差が大きく、様々な人々との関わりを深めていきたい。 | 日々の教育活動において、様々な人々との関わりを大切にしていけるように、互いの良さや違いを認めることができる取組を進めていく。             |
|   | 粘り強く取り組む子<br>(たくましい子)           | <ul style="list-style-type: none"> <li>元気に遊び、運動に親しむ。</li> <li>苦手なことにチャレンジする。</li> <li>健康な体や心をつくる。</li> </ul>         | 3                | 休み時間の空見遊び、なわとびタイム、放課後学習や給食・保健指導等、効果が見られた。個に応じた継続的な課題づくりが重要である。 | 休み時間に、多くの子供たちや先生方が運動場で元氣いっぱい遊んでいることは素晴らしい。苦手なことなど課題克服については、家庭の支援も必要である。  | 遊びや運動、補充・発展学習、健康な心と体づくり等、子供たちが自己肯定感を高め、成就感を味わえるような、継続した教育環境づくりに努めていく。      |
| 全<br>市<br>的<br>に<br>推<br>進<br>す<br>べ<br>き<br>こ<br>と | ①いじめ防止対策に関する取組み                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>終礼や生指校内委員会、日頃の児童との関わり等、全職員で情報共有を行い、いじめの未然防止に努めた。</li> </ul>                   | 3                | 職員間での情報共有、児童との面談等、未然防止には努めているが、日々の教育活動の中で一人一人の人権意識を高めていく必要がある。 | 子供たちだけでなく、家庭や地域における、人権を大切にしてい意識を高めていきたい。                                 | 一人一人の人権意識を高め、子供たちの心に寄り添った集団づくりを行う。SNS等に関する情報モラルや規範意識を育て、いじめの未然防止に努めていく。    |
|   | ②不登校支援の取組み                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の居場所を感じられる学級集団作りに努め、個に応じた指導や関係機関との連携を充実させた。</li> </ul>                    | 3                | 個に応じた指導や関係機関との連携には努めることができたが、小規模校の実情もあり、人的・物的整備の面では、課題が残った。    | 地域においても、見守り活動や居場所づくりに協力していきたい。児童館との連携も考えていきたい。                           | サポートルームの整備に努め、個に応じた支援体制の充実・関係機関との連携を図り、一人一人が安心して学ぶことができる、居場所づくりを行っていく。     |
|   | ③教職員の業務改善                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>会議やスケジュールの精選を行い、勤務時間内にゆとりを生み出し、超過勤務の削減に努めた。</li> </ul>                        | 3                | 学期当初・学期末の時数調整により、昨年度までと比べて、ゆとりを持って勤務することができた。さらに計画的に業務改善に努めた。  | 家庭ですべきことなど、先生方の多忙化は理解できる。地域でも協力できることを行っていきたい。                            | 「令和の時代における学校の業務と活動」を参考に、全職員が職責に応じて、互いの良さを発揮し、協働できるよう、更なる業務改善に努めていく。        |
|   | ④「すぐー」の活用、ホームページにおける情報発信        | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校からのお知らせやアンケート等「すぐー」を活用し、定期的にホームページの更新・見直しを行った。</li> </ul>                   | 3                | 学校からのお知らせやアンケート等、「すぐー」の活用により、タイムリーな情報発信ができた。さらにホームページの精選に努めた。  | 学校の様子がよく分かるので、ホームページの更新を楽しみにしている。さらに啓蒙して欲しい。                             | 学校と家庭をつなぐツールとして、引き続き「すぐー」を有効活用していく。学校の教育活動がよく分かるように、ホームページの見直し・更新に努めていく。   |
|   | ⑤学校生活のルールや決まり(校則など)について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>熱中症対策や冬場の体育学習の服装、清掃時の取組など、児童が安心して活動できるように見直しを行った。</li> </ul>                  | 3                | 服装や持ち物等の見直しにより、子供たちも安心して学校生活を送ることができた。今後も適宜、見直しを行っていきたい。       | 時代の変化に合わせて、弾力的に運用して欲しい。学童保育等、歩調を合わせたいので、見直しがあれば、その都度知らせて欲しい。             | 学校生活のルールや決まりについて、定期的に検証を行い、教育活動を行う上で、必要な内容に精選・見直しができるようにしていく。              |

【評点】 4 : 十分達成できた 3 : おおむね達成できた 2 : どちらかと言えば課題がある 1 : 課題がある